

氏名 佐 藤 誠 治

授与した学位 博 士

専攻分野の名称 医 学

学位授与番号 博 乙 第 2833 号

学位授与の日付 平成 6 年12月31日

学位授与の要件 博士の学位論文提出者

(学位規則第 4 条第 2 項該当)

学位論文題目 Elevated urokinase-type plasminogen activator plasma levels are associated with deterioration of liver function but not with hepatocellular carcinoma

(血漿中 ウロキナーゼタイプ プラスミノゲンアクチベーター
濃度の上昇は肝細胞癌の存在ではなく肝機能の悪化と関連する)

論文審査委員 教授 太田 善介 教授 原田 実根 教授 原田 英雄

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

我々は血漿中urokinase-type plasminogen activator (u-PA) 濃度を各種肝疾患において測定した。非代償性肝硬変群の血漿中u-PA濃度は著明に上昇し、代償性肝硬変群、肝細胞癌合併代償性肝硬変群、肝細胞癌合併非代償性肝硬変群の三群のそれよりも有意に高値をとった。この三群の血漿中u-PA濃度には有意差が見られなかったが、慢性肝炎群および健常者コントロールに比べ中等度の上昇が見られた。慢性肝炎群、代償性肝硬変群、非代償性肝硬変群の血漿中u-PA濃度と七つの肝機能検査および 9 点以上のmodified Pugh scoreとの間には相関が認められた。一方、肝細胞癌が存在しても血漿中u-PA濃度は高値を示さず、また肝細胞癌の浸潤、転移があっても血漿中u-PA濃度は高値を示さなかった。以上の結果より血漿中u-PA濃度は肝機能の悪化に関連して上昇を示したが、肝細胞癌とは無関係であることが示唆された。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は血漿中urokinase-type plasminogen activator (u-PA) 濃度を各種肝疾患に

において測定したものである。非代償性肝硬変群の血漿中u-PA濃度は著明に上昇し、代償性肝硬変群、肝細胞癌合併代償性肝硬変群、肝細胞癌合併非代償性肝硬変群の三群のそれよりも有意に高値をとった。以上の結果などより血漿中u-PA濃度は肝機能の悪化に関連して上昇を示したが、肝細胞癌とは無関係であることが示唆された。これは臨床的に有意義な業績である。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。